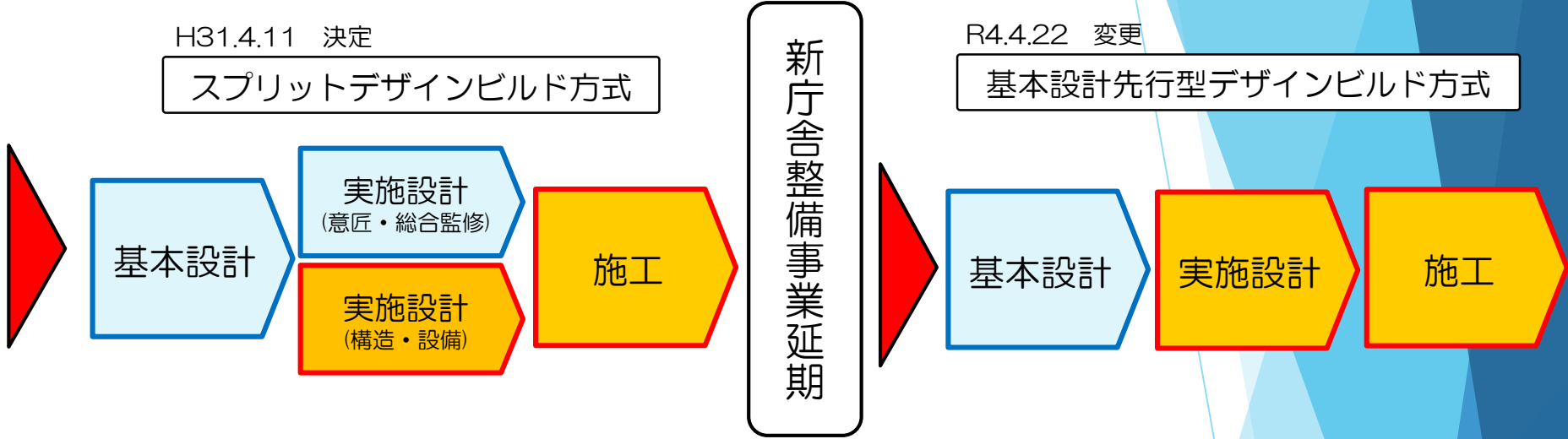


新庁舎建設工事の事業者選定手法について

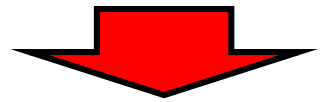
新庁舎建設工事の事業手法について

八千代市民間活力導入指針に基づき・・・

民間活力導入手法の適用を検討



- 80億円超の大規模案件。少しでも財政負担を軽減したい。
- 工事の品質も確保したい。



事業者選定手法は活発な価格競争と工事品質の確保が見込める手法としたい。

事業者の選定手法について

新庁舎建設工事の事業者選定手法は次の2つの方法が考えられます。

選定手法	概要	評価の対象			メリット	デメリット	新庁舎建設工事への適用
		価格	事業者	提案内容			
公募型プロポーザル方式 (随意契約)	技術提案の内容を点数化し、技術的に最適な者を選定	×	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 企業の独創性、技術力、経験等について最も適したものを選定できる。 随意契約のため、第1位契約候補者と契約が締結できない場合、次点の者と交渉できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 価格評価点を設けることが出来るが、制度上、評価の比重を高くできない。 審査の公平性や透明性の確保に注意が必要。 	工事品質の確保は可能だが、 活発な価格競争は期待できない。
総合評価落札方式 (一般競争入札)	技術提案と入札価格の総合的評価	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 価格及び品質が総合的に優れたものを選定できる。 一般競争入札のため、選考結果の説明が容易。 	<ul style="list-style-type: none"> 落札者決定後に契約が締結できなくなった場合、入札手続きのやり直しが必要。 学識経験者への意見聴取が必須である。 	価格競争促進と工事品質確保の両方を期待できる。

総合評価落札方式採用時の落札率について

民間ノウハウの取り入れや入札価格の比率により、活発な価格競争が期待できる。

総合評価落札方式を採用している近隣自治体の事例は右図のとおり。

(参考)

自治体	予定価格	契約金額	落札率	開札時期
千葉県千葉市	27,713,880千円	24,942,600千円	90%	H31.1
千葉県習志野市	10,703,880千円	8,845,200千円	83%	H26.12
千葉県浦安市	11,924,850千円	10,752,000千円	90%	H25.8

総合評価落札方式に関連する各種要領等の整備について

事業者選定手法を総合評価落札方式に採用するにあたって
関連する本市の現行要領（※）は市内業者の参画が前提と推察される内容となっており、大手ゼネコンの入札参加が想定される本件においては・・・

現行要領の改定or特化型要領の作成が必須

※八千代市総合評価一般競争入札試行実施要領，八千代市総合評価技術審査会設置要領など